

子育て生活における母親の幸福度の母子の年齢による違い

○堂坂更夜香
(早稲田大学人間科学部)

向後千春
(早稲田大学人間科学学術院)

背景

母親の育児ストレス

幼児虐待事件急増

前年度比を6,888件増の66,807件と過去最高の数字を更新
虐待加害者の第1位は実母、第2位は実父(厚生労働省, 2013)

目的

母親の幸福度の実態は？

1. 子育て中の母親の幸福度を測定する尺度を開発すること
2. 母子の年齢による違いをみる

方法

調査期間：2012年6月29日～7月10日(13日間)

調査対象者：子育て中の母親126名
(平均年齢40.61歳(SD=6.12))

調査方法：REASを利用したオンライン質問紙調査

測定尺度：オリジナルで作成した尺度を使用
母親の幸福度に関する20項目5件法
フェイスシート5項目
(年齢・就業の有無・子どもの数・子ども年齢&性別・手伝いの有無)

結果

◆母親の幸福度尺度オリジナルの因子分析

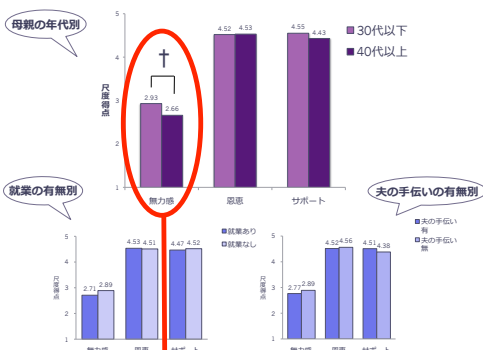
質問No.	質問項目	第1因子 無力感	第2因子 恩恵	第3因子 サポート
Q9	* 子育てに自信が持てない	.90	.14	.05
Q13	* 子どもに振りまわされてイライラすることがある	.78	.12	.12
Q11	* 自分は母親として能力がないように感じる	.70	-.02	-.07
Q10	* 子育てをしていると、世の中から取り残されていくように感じる	.60	.06	-.06
Q8	* 子どもを育てることを負担に感じる	.60	-.12	-.07
Q7	期待通りの子育てができていない	-.58	.17	-.04
Q4	子どもが褒められると自分のことのように嬉しく思う	.20	.80	-.15
Q2	子どもに生きる勇気をもたらしている	-.02	.73	.07
Q3	子どもを育てていることで人間的に成長させてもらっていると感じている	.12	.66	.04
Q1	子どもを育てるのは楽しいと思う	-.28	.63	-.05
Q6	母親であることに生きがいを感じている	-.21	.46	.12
Q20	子育てに協力してくれる周囲の人に感謝している	.02	-.06	1.02
Q19	子育てに関して相談できる人がいる	-.01	.28	.36

因子抽出法：最尤法
因子間相関
因子1 — — — -.19
因子2 — — — .31
因子3 — — — —

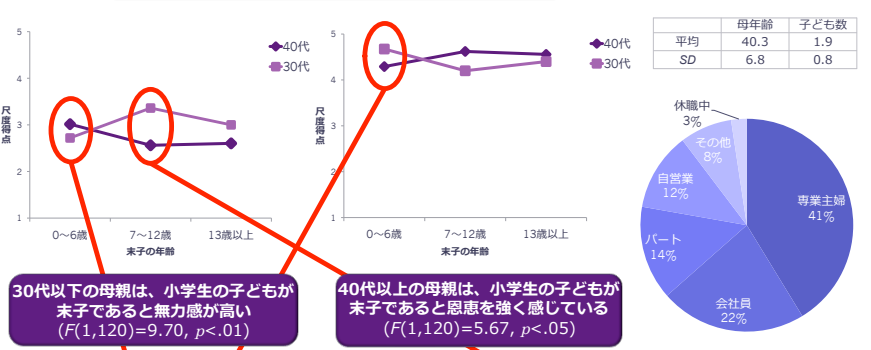
回転法：Kaiserの正規化を伴うプロマックス法
*は逆転項目を示す

「子育てに関する無力感」「子育てによる恩恵」「子育てへのソーシャルサポート」の3因子13項目が抽出

◆フェイスシート項目によるt検定



◆2要因分散分析(母親年齢×子ども年齢)



30代以下の母親は、40代以上の母親より「子育てに関する無力感」を感じる傾向がある

考察

1) 母親自身がまだ若く人生経験が浅いため不安も多くなるのでは？

2) 末子が未就学児は、手がかかるが母親として必要とされる喜びもあるのでは？

3) 末子も小学生になると自我も出てきて母親の思い通りにいかないのでは？

結論

- ◆母親の幸福度の構造は、3因子13項目から成り立っている
- ◆母親の幸福度は、母子の年齢により差がみられる